

第7回
多摩川
子ども環境
シンポジウム

みんなの発表誌

テーマ

「多摩川のここが大好き！」

2014年**12月6日(土)**に、
フォレスト・イン昭和館(昭島市)で
発表された内容をまとめました。



美しい多摩川フォーラム

開会挨拶

本日は、美しい多摩川フォーラムの第7回「多摩川子ども環境シンポジウム」の開催、おめでとうございます。

美しい多摩川フォーラムが誕生して7年も経ちますが、このフォーラムを作った経緯について、私もフォーラム生みの親の一人として、ご紹介したいと思います。私たちは一人では生きていけません。でも大上段に構えて国にこうしてほしいと言うのも難しいですね。そこで、自分たちが暮らしている場所から、「何か」をしていきたいという考えが私たちの仲間から生まれました。私たちが暮らして生きていくためには、まず暮らしの元、経済が大事です。次に、私たちが実際に生きていくためには、食料や衣服などが必要です。それらは、水や土や草木などの自然の恵みとしていただいています。このため、自然や環境を守っていくことが大切です。そして、そのような考え方を次代の子どもたちに伝えていく教育、また、その考え方をしっかりと根付かせていく文化、この教育と文化が一番大事だと思いました。このように、経済、環境、教育文化の考え方を3本柱にして活動するのが美しい多摩川フォーラムで、このシンポジウムは、この教育文化の柱になる事業です。

フォーラムの活動は、次代の子どもたちに繋ぐ100年先を見据えたたゆまぬ活動です。このため、私たちの想いが込められ、100年歌い継がれるような「多摩川の歌」をつくりたいと思いました。幸い、日本を代表する詩人谷川俊太郎先生がこの想いを受け留めて言葉を紡ぎ、作曲家の寺島陸也先生が心に響くメロディーをのせてくださいました。2番の歌詞は、“水辺の桜に夢を託して 集う人遊ぶ子どもら 人々の心ゆるくむすんで”と始まりますが、「人々の心ゆるくむすんで」のくだりは私が最も好きな言葉です。固く手をつないでいこう、ではなく、“ゆるくむすんで”、何か心を伝えられればそれでよいのです。

きょうのシンポジウムでは、発表する皆さんが、多摩川の良さ、美しさを紹介し、伝えて、来年はそれをまた誰かに伝え、“ゆるくむすんで”、輪を広げていただければと願っています。



美しい多摩川フォーラム・名誉会長 篠塚 英子

目次

◆開会挨拶	1
◆開会宣言	2
◆会場アンケート	2, 8

【第1部：発表会】

①「多摩川の外来種」 ～学校法人和光学園 和光小学校 外来種グループ～	3
②「多摩川の魚を釣りあげよう！」 ～学校法人和光学園 和光小学校 魚とりNo.1 チーム～	5
③「ぼくと多摩川と生き物とークロベンケイガニを世話してみてー」 ～たちかわ水辺の楽校運営協議会～	7
④「せせらぎ観察園の魅力大紹介」 ～川崎市立下布田小学校 せせらぎ委員会～	9
⑤「多摩川イベント紙芝居 Part 3」 ～青梅市立河辺小学校～	11
⑥「多摩川でボートを通じてわかること」 / 「多摩川でボートを楽しむ会に入って」 ～多摩川でボートを楽しむ会～	13
⑦「ぼくたち私たちの多摩川をさぐれ」 ～稲城市立稲城第六小学校～	15
⑧「多摩川連想ゲーム Part IV (復活編：御岳バージョン)」 ～青梅市立河辺小学校～	17
⑨「浅川大好き！」 ～浅川潤徳水辺の楽校～	19
⑩「多摩川の歴史」 ～たちかわ水辺の楽校運営協議会～	21
⑪「世田谷ピース」 ～世田谷区立喜多見中学校 演劇部放送班～	23

◆作品賞発表・賞状授与、閉会挨拶	25
------------------	----

【第2部：交流会】	26
-----------	----

第1部：発表会



世田谷区 和光小学校 4年 松井 富士后
ひらい そうじろう
平井 草次郎

開会宣言

私たちは4月から多摩川の学習をしてきました。水干での最初の一滴から、河口の干潟まで、全部行きました。多摩川はとてたくさんの魅力にあふれる川でした。人の手によって汚されてしまった多摩川が、人の手によってきれいになってきた歴史も学びました。今日はいろいろな発表から、さらに多摩川のことを詳しく知りたいと思います。お互いに学び合って、いい会にしましょう。

これから第7回多摩川子ども環境シンポジウムを開会します。

総合 司会



東京都立南多摩中等教育学校 日野市立潤徳小学校
3年 あだち はるな 足立 晴菜
6年 かしわぎ けん 柏木 謙



会場アンケート回答者

性別	男		女		不詳		合計	
人数・構成比	24	68.6%	10	28.6%	1	2.8%	35	100%

年齢別	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
人数	8	1	4	12	2	5	3	35
構成比	22.9%	2.8%	11.4%	34.3%	5.7%	14.3%	8.6%	100%

会員別	会員		非会員		不詳		合計	
人数・構成比	7	20.0%	24	68.6%	4	11.4%	35	100%

住所別	世田谷区	大田区	三鷹市	稲城市	立川市	日野市	八王子市	青梅市
人数	4	1	1	7	4	5	1	8
住所別	川崎市	飯能市	不明	合計				
人数	2	1	1	35				

多摩川の外来種

～学校法人和光学園 和光小学校 外来種グループ～



世田谷区 和光小学校 4年

新井 高晟

松井 富士后

大石 桐琥

松浦 はな

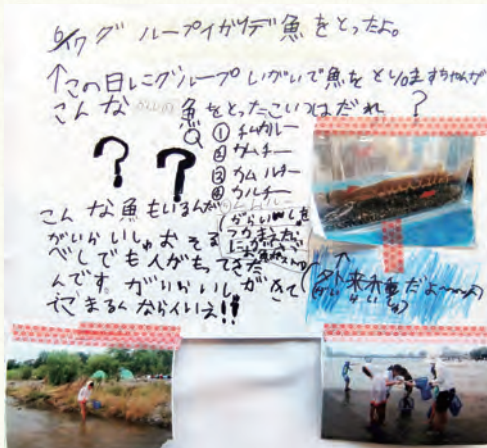
加藤 裕美子



「外来種」とは何か??

- ・外来種とは米国、ヨーロッパ、中国、など外国からきた魚、虫、草花、などのこと。
- ・国内間でも人が持ちこんだ生き物も外来種になる。
- ・なぜ、外来種がいるとわるいのか?
- ・「やいらいしく(日本の)にえいきょうする。外来種でうめつくされてしまう。

6月17日に狛江水辺の楽校で生き物とりをしました。



ウキゴリやシマドジョウ、スジエビ、ヌカエビ、フナ、たくさんの生き物を捕まえ、そのうちにバス、バスの稚魚、そして、40cmのカムルチーを捕まえました。バスやカムルチーは、ほんらい多摩川にはいない外来種です。

10月20日にやまちゃんこと山崎充哲さんに学校に来てもらって、多摩川の色々なお話を聞きました。

お話を聞いた後、いなだ公園のお魚ポストに行き、見学とお魚にエサやりをしました。

たくさんのコイがいきました。カムルチーもいました。小さなグッピーもいました。

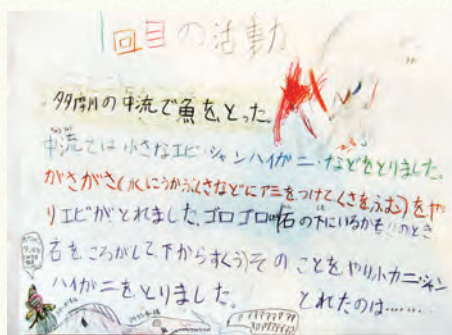
【感想】

- ・コイを見てこんなにいっぱいすてる人がいるんだなあ。ひどい、びっくりしました。(ゆみこ)
- ・想像以上に面積が広かったです。(はな)

お魚ポスト 山ちゃんのお話

10月20日に山ちゃんことやまさきさんが学校に来て色々なお話をしてくれました。(川のしくみや、少し下水のことなど)

その後、お魚ポストへ行き魚にエサやりもしました。



【活動1回目】

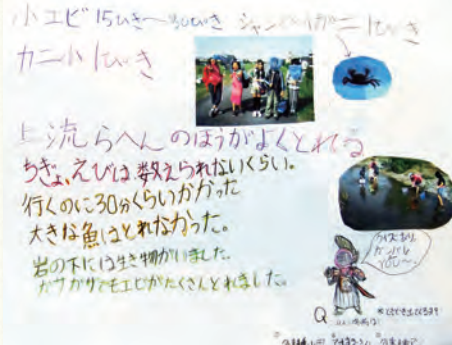
グループに分かれての1回目の活動は狛江水辺の楽校で、生き物とりです。

がさがさとゴロゴロで、小エビ15匹き～30匹き・小さいカニ1匹き・シャンハイガニ1

匹き・数えられないくらいの稚魚がとれました。

大きな魚はとれなかった。

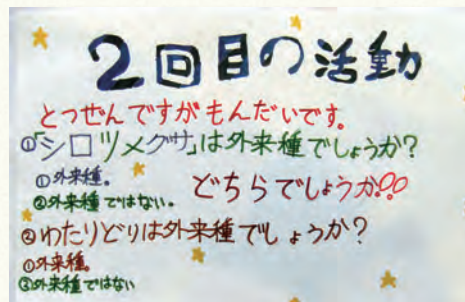
ちなみに山ちゃんによると、シャンハイガニはスープにして、うどんを入れて食べるとおいしいそうです。



【活動2回目】

突然ですが、問題です。

- ①シロツメグサは外来種でしょうか。外来種だと思う人? 外来種ではないと思う人?
- ②外国から日本に飛んできの渡り鳥は、外来種でしょうか。外来種だと思う人? 外来種ではないと思う人?



正解は、

- ①シロツメグサは外来種です。

戦争の前に外国から来た荷物のなかに入っていました。ちなみに戦争の前なので、外来種ではないという人もいます。

- ②渡り鳥は外来種ではありません。

外来種というのは人の手によって持ち込まれたもので、自分の意志でくるのは外来種とはいいません。

ということで、外来種というのは魚や亀に限ったことではなく、植物にもあるのです。

①の答え 外来種です。なぜきたのか... せんそうのまえに、外国からにもつダンボールの中に入れていた。

②の答え 外来種ではありません。外来種は人にもちこまれた物などで自分でいくことは、外来種とはいいません。

活動3回目

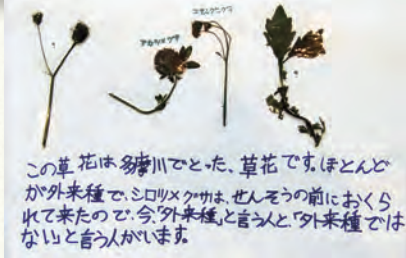
ニケ令貢せせらぎ館に行きました。たくさん魚がいました。DVDを見たりしました。草花の本を見て種類をしらべました。つみきをやりました。多摩川にQと書いてありました。



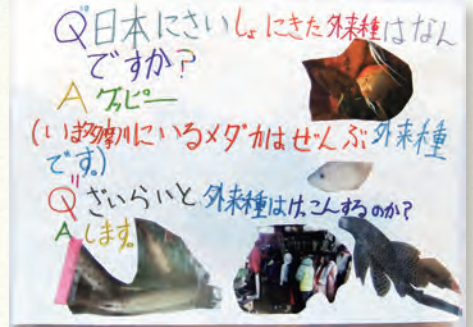
【活動3回目】

多摩川で草花をつんで、登戸にある、ニケ令貢せせらぎ館に行きました。せせらぎ館では草花の本を見て種類を調べたり、魚を見たりしました。

ここに貼ってある草花は多摩川で捕ったもので、ほとんど外来種です。せせらぎ館の方が教えてくれました。



在来種と外来種が結婚することもあります。そのため、多摩川にいる、もともといたメダカは絶滅しました。今いる多摩川のメダカは全部外来種です。



私たちは、最初外来種のことをあまり知りませんでした。でも外来種のことを調べて、外来種は人に害をおよぼしたり、在来種を食べたりして、在来種を絶滅させたり、世の中に害を与えてきました。

その外来種が今、日本の多摩川にいます。それはいまだに川に外来種を捨てる人がいるからです。

さらに外来種はみんながあたたかいお湯を下水に流すことで生きのびるので、あたたかいお湯をなるべく流さないようにしようと思いました。

4回目の活動

山崎さんの仕事所に行きました。山崎さん(多摩川)を書いた人(魚)を作りました。こんなことがありました。(山崎さんのページ)いつもにもたえてくれました。



Qさいきん多摩川にいた魚は? Aいまだつみでちうずめ! Q外来種を外国におくるとどうなるの? Aおきかえすと日本であつたキンが外国にい

【活動4回目】

11月24日に山崎さんの事務所に行き、インタビューと外来種の魚を見せてもらいました。たっぷり1時間お話を聞きました。その一部をご紹介します。

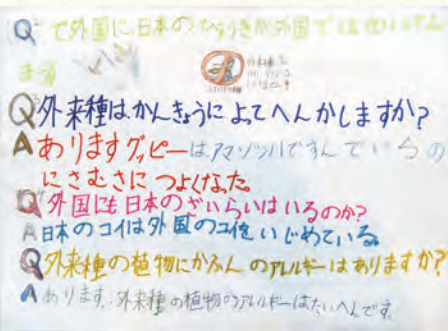
最近多摩川にいた魚でとてもおどろいたの

は、チョウザメだそうです。体長が約60cmもありました。

外来種の生き物をもといた国に送り届けることはありません。かえすと日本であつたキンが外国にいて、日本の病気が外国で発生してしまうのです。

外来種は環境によって変化します。例えば、グッピーなんかはさむさに強くなりました。

外国にも日本の外来種がいるそうです。ちなみに日本のコイは外国のコイをいじめています。

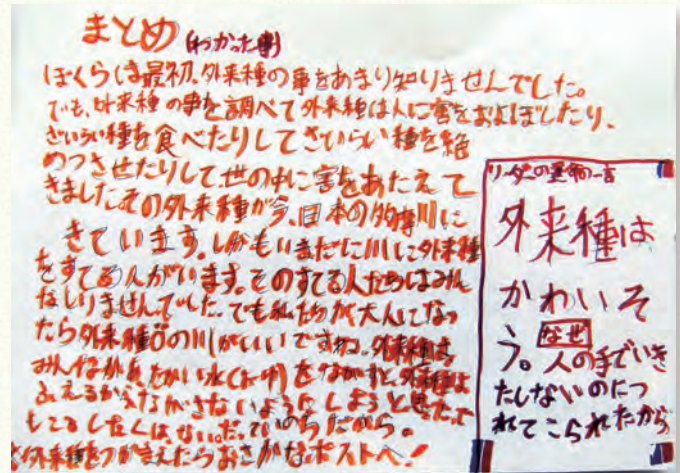


1番最初に多摩川でみつけた外来種はナマズだそうです。

多摩川のなかで外来種が多いのは、二子玉川から拝島くらいまで、冬場は水再生センターの近くに集まり、冬を越すことがあります。

山崎さんにとつ

て、多摩川にいてうれしい外来種はいませんが、ウーパールーパーはかわいいといっていました。



私たちが大人になったら、外来種ゼロの川がいいですね。でも殺したくはない。だって命だから。

外来種もかわいそうです。人の手によって連れてこられたのだから。もし外来種を多摩川でつかまえたなら、お魚ポストへ。



これで、外来種グループの発表は終わります。聞いてくれてありがとうございました。

多摩川の魚を釣りあげよう！

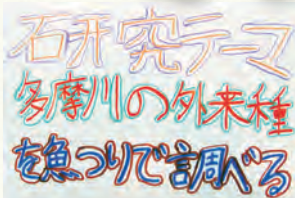


～学校法人和光学園 和光小学校 魚とり No.1 チーム～



世田谷区 和光小学校 4年

いしくら ひいろ からき ゆうた ひらい そうじろう ふる い のぞみ
石倉 灯路 唐木 裕太 平井 草次郎 古井 希



私たちは、中の島で釣りをしました。そこで釣った外来魚を紹介します。

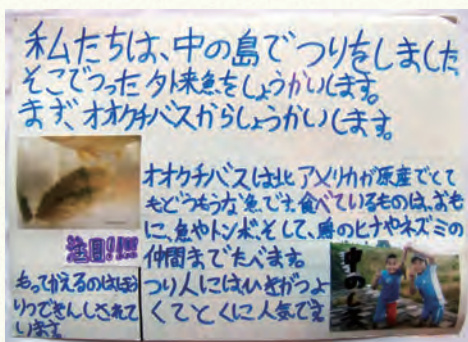
まず、**オオクチバス**から紹介します。

オオクチバスは北アメリカが原産で、とてもどうもうな魚で

す。食べているのものは、おもに魚やとんぼ、そして、鳥のヒナやネズミの仲間まで食べます。

釣り人には、ひきが強く、とくに人気です。

注目！！ 持って帰るのは、ほうりつでんしんされています。



親子釣り教室に行きました。

11月9日、多摩川の稲田堤でやりました。

①友達が釣ったもの：
スッポン (30cmくらいの大きさ)
ニゴイ (10cmくらいの大きさ)

②食べたもの：
コクチバスのから揚げ、
アユの天ぷら

鯉の放流をしました。

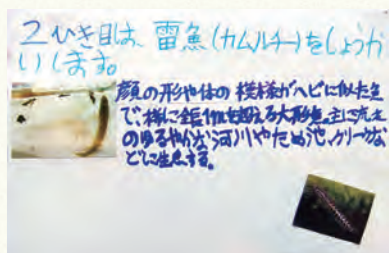
バケツにコイをいれてもらって、川に行ってお魚を放流しました。

びっくりしたこと

オオクチバスのなかからアユがでてきたこと。オオクチバスをさばいていた人が何か見つけたといって、見たらアユがでてきた。

僕は山崎さんの事務所に行ってインタビューをしました。

●が質問。●が答え。



2匹目は**雷魚、カムルチー**を紹介いたします。

顔の形や体の模様がヘビに似た魚で、まれに全長1mを超える大型魚。主に流れのゆるやかな河川やため池、クレーンなどに生息します。

ブラックバスの解体

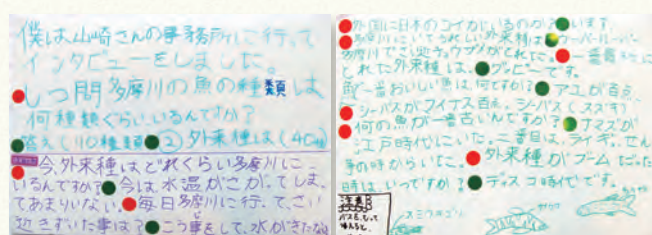
まず、しっぽと頭をざくっと切る。そして、はらの所を横に切る。そして食べられない場所を取り除いて、あとは油であげる。

- ① これが生きているところ。
- ② しっぽを切っている写真。
- ③ エラから切っている写真。
- ④ しっぽとエラを切られている様子。
- ⑤ うろこをとっている写真。
- ⑥ 腹を横から切った様子。



ブラックバスを食べてみて

最初はこんなおいしいのかな？と思って小さいのを食べてみたらおいしくて、もっと食べたいと思いました。しっぽも食べたけど、しっぽはあんまりおいしくありませんでした。



- 多摩川の魚の種類は何種類くらい、いるんですか？
- 90種類。
- 今外来種はどれくらい多摩川にいるんですか？
- 外来種は40種類
- 今は水温が下がってしまってあまりいない。
- 毎日多摩川にいった最近気づいたことは？
- 工事をされていて、水が汚い。
- 外国に日本のコイがいるんですか？
- います。
- 多摩川にいてうれしい外来種は？
- ウーパールーパー。多摩川で最近チョウザメがとれた。
- 一番最初にとれた外来種は？
- グッピーです。
- 魚で一番おいしい魚はなんですか？
- アユが100点、シーバスはマイナス100点（シーバスはスズキ）
- 何の魚が一番古いんですか？
- ナマズが江戸時代にいた。二番目がライギョ。戦争の時からいた。
- 外来種のブームだったときはいつですか？
- ディスコ時代です。

【注意！バスを持って帰ると罰金】

もしブラックバスをとったら、殺すか、さばいて食べる。それか、小さくしてナマズにあげる。

- 何年ぐらいやっているんですか？
- だいたい50年くらい。

- 外来種とは何ですか？
- 外からきた魚や持ち込まれた魚です。

今から見せるのは、山崎さんのじむしょにいた3匹の魚です。



1 匹目 ナマズ

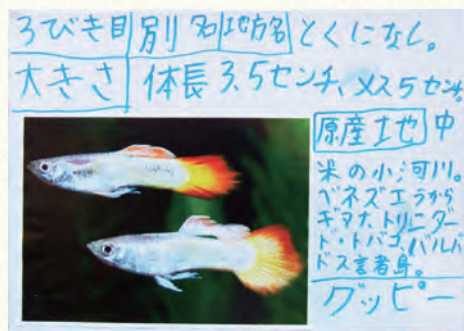
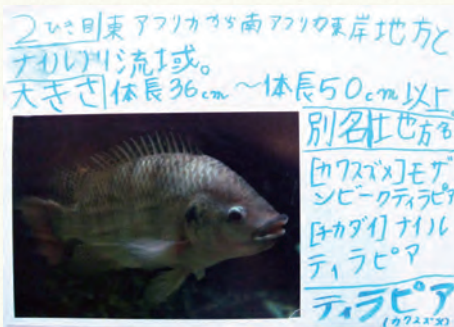
大きさ 60cm 本州四国九州に生息。



昔から食用にされてきた魚で、どろどこの場所を好む。平地の川や沼なので、ごく普通にみられるが、数は減っている。夜間に活動し、エビやカニ、魚などを食べる。

2 匹目 ティラピア (カワスズメ)

東アフリカから南アフリカ、東岸地方とナイル川流域に生息。大きさ、体長 36cm から～体長 50cm 以上。別名、地方名、カワスズメ、モザンビークティラピア、チカダイ、ナイルティラピア。



3 匹目 グッピー

体長 3.5cm メス 5cm 原産地 中米の小河川、ベネズエラからギアナ、トリニダード・トバゴ、バルバドス諸島に生息。

- 最後に外来種のことをどう思いますか？

● 大丈夫です。

3 人目はあそさんにインタビューしました。

- このへんで何が釣れますか？

● アユ、フナ、マブナ、コイ、ヤマメ、ニゴイ、ナマズ

- 多摩川で外来種を釣ったことはありますか？

● ブラックバス、ブルーギル、雷魚

- 最後に外来種のことをどう思いますか？

● いない方がいいと思います。

4 人目にあやかわさんにインタビューしました。

- このへんで何が釣れますか？

● コイ、フナ、オイカワ、ヤマメ、ハヤ

- 多摩川で外来種を釣ったことはありますか？

● バス、ブラックバス

- 何年釣りをやっていますか？

● 50 年。この場所が一番いい。

- 最後に外来種のことをどう思いますか？

● 許しちゃいけないと思います。

5 人目にかなざわさんにインタビューしました。

- このへんでは何が釣れるんですか？

● コイ、フナ、オイカワ、ヤマメ、ハヤ

- 多摩川で外来種を釣ったことはありますか？

● ブルーギル、ブラックバス

- 何年釣りをやっていますか？

● 40 年くらいやっています。

- 最後に外来種のことをどう思いますか？

● いない方がいいと思います。



【わかったこと】

- ① 多摩川に 40 種類くらいの外来種がいること。
- ② 釣り人は魚にすごい詳しい。
- ③ 外来種がいていいと思うひとと、いて嫌だという人、両方がある。

【みんなの感想】

最初は少し緊張したけど、やってみたら楽しかった。魚を釣ったりとったりやってるうちに、楽しくなってインタビューをして、魚釣りを本格的にはじめることにしました。

山崎さんの事務所には魚、在来種がいっぱいありました。山崎さんの事務所にはエンゼルフィッシュやグッピー他、いろんな魚がいました。コイを 2 匹釣ったときの感覚はとても重くてすごかったです。釣れてうれしかったです。

いつも外来魚のことなんて考えなかったけど、改めて多摩川学習をして、いつも考えています。みなさんも考えてみて、ときには検索して調べてください。

魚はすごく頭がよくて、釣るのが難しかった。多摩川の勉強をして、外来種は意外と多いんだなと思いました。オオクチバスは食べたら、美味しいから、釣れたら、食べるのがいいと思いました。

これで僕たちの発表を終わります。

私たちはいずみ多摩川に行って釣り人にインタビューしました。

1 人目にかつもとさんにインタビューしました。

- 僕たちの行きたいいずみ多摩川で、釣れる魚は？
- ヘラブナ、フナが釣れるみたいです。
- 多摩川で外来種を釣ったことはありますか？
- ブラックバス、外来種のカメ
- この場所をどうやって知ったのですか？
- 近所に住んでいるからわかります。
- 最後に外来種のことをどう思いますか？
- 迷惑だと思えます。

2 人目にいたばしさんにインタビューしました。

- このへんで何が釣れますか？
- フナです。
- 多摩川で外来種を釣ったことはありますか？
- ブラックバス、ブルーギル

ぼくと多摩川と生き物と

ークロベンケイガニを世話してみてー

～たちかわ水辺の楽校運営協議会～

立川市 けやき台小学校 4年 田中 大久

画用紙



たなか まさひさ

ぼくと多摩川と生き物と



けやき台小学校4年

田中 大久

ぼくはたちかわ水辺の楽校で多摩川のいろいろな所に行きました。とくに楽しかったのは、一つ目は、山梨県小菅村での「源流体験」です。二つ目は、立川市の残堀川での「ガサガサ」です。三つ目は、多摩川の河口の川崎市大師河原での「干がた観察会」です。

まず源流体験のことをしょうかいします。源流ではきれいなヤマメが見れました。ヤマメが見れたのが一番楽しかったです。理由はぼくの住んでいる辺りではないのでめずらしいからです。そのほかに岩からジャンプして川にとびこんだり、たきにうたれたりしました。



次に残堀川のことをしょうかいします。残堀川は中流の多摩川につながる川の一つです。残堀川はいろいろな魚がいます。たとえばコイやナマズです。そのほかにアメリカザリガニやヌカエビがいます。今しょうかいしたコイ以外の生き物たちはガサガサでとれます。残堀川は運が良ければカワセミが見られます。

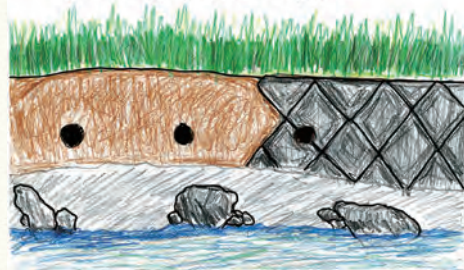
さいごに干がたのことをしょうかいします。干がたでは、どろをほればシジミやゴカイがいっぱいいます。カニもいっぱいいるんですが種類ごとに棲んでいる場所がちがいます。

アシハラガニは、アシ原の中に巣を作ってそこに棲んでいます。



クロベンケイガニは土手の側面にある巣穴に棲んでいます。

クロベンケイガニの巣穴



ヤマトオサガニは干がたのどろの所に巣を作って棲んでいます。このように種類ごとに棲んでいる場所がちがいます。このほかにテッポウエビやテナガエビもいます。

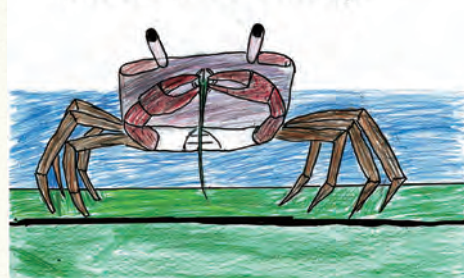
ヤマトオサガニの巣穴



ぼくは今年の6月に多摩川の河口の大師河原にいたクロベンケイガニをつかまえてきて、世話をしてみました。かい方はかんたんで、育苗ケースに7～8センチメートルの深さの水と、レンガを使って陸地を作ってあげます。

クロベンケイガニはどんなものを食べるのか、いろいろためしてみました。カニが食べた物は、カメのえさ用干しえびやにんじんやさつまいもやミントの葉などでした。食べなかった物は、みずなやヤマモやおかひじきでした。これからもほかの食べ物もためていきたいです。

クロベンケイガニの食事



ぼくは多摩川についてもっと勉強していこうと思います。

会場アンケート結果

質問 興味をもった発表は何ですか？(いくつでも)

	回答者数	全体比
①多摩川の外来種	9人	6.4%
②多摩川の魚を釣りあげよう！	7人	5.0%
③ぼくと多摩川と生き物と	9人	6.4%
④せせらぎ観察園の魅力大紹介	12人	8.6%
⑤多摩川イベント紙芝居 Part 3	18人	12.9%
⑥多摩川でボートを通じてわかること ／多摩川でボートを楽しむ会に入って	10人	7.1%
⑦ぼくたち私たちの多摩川をさぐれ	13人	9.3%
⑧多摩川連想ゲーム Part IV	19人	13.6%
⑨浅川大好き！	8人	5.7%
⑩多摩川の歴史	19人	13.6%
⑪世田谷ピース	16人	11.4%

質問 次回に期待するテーマは何ですか？

- 多摩川の文化など。
- 多摩川が活用できるようなテーマ。
- 多摩川での取り組み。
- 多摩川の清掃実態。
- みんなで多摩川をより良くするためには。もっと関心を持ってもらうには。
- 多摩川を活用した産業(工業)について。
- ドキュメンタリー、体験談、歴史・由来など。



質問 発表を聞いて何が学べて、どんな感想をもちましたか。

- 多摩川のことに色々興味を持った。また来年も参加したい。もっと調べてみたい。
- ②番の発表を聞いて、チョウザメがいることにビックリした。⑦番の発表を聞いて、「ルアーや有害物を捨てる人があるんだ」と思った。
- ルアーなどの有害物を捨ててはいけなかったことが分かった。
- 多摩川の歴史を学べて良かった。
- 子どもたちが環境についてすごく勉強していることが分かり、嬉しかった。
- 年々、回を重ねる毎に、子どもたちの発表レベルが上がっていて驚く。
- みんな、良く調べていた。
- 多摩川の環境について、子どもたちが興味を持っていることが嬉しい。
- 多摩川に関心を持ち、色々なことに気付き学んで、きれいな川を残してほしい。
- 子どもの懸命さ、素直さが良かった。
- 様々な地域で、多摩川に触れ、多摩川で楽しみ、多摩川を大切にしていることが分かった。
- 多摩川についての興味深い内容が多く、楽しめた。
- 多摩川に多くの外来種がいることに驚いた。
- アユがおいしそうで、食べたくなった。
- 子どもたちはみな落ち着いて発表出来て良かった。⑩番の子どもは、いままで何回も発表しているので、成長を感じた。⑪番の発表は、過去の発表には無い内容で、今後のフォーラムの可能性を感じた。
- 色々な角度から調べ、気付きがあることが素晴らしかった。
- 様々な人が、多摩川に関わりを持って生活していることが分かった。
- どの発表もとても素晴らしかった。
- 子どもたちが、多摩川や魚、水の生き物について一生懸命勉強していることが良く分かった。
- 子どもたちがこんなに勉強して、多摩川を愛していることに感動した。この発表会も、もっと沢山の子どもたちに見てもらいたいと思った。
- 多摩川ひとつにしても、どこに目を付けるかによって様々な発表の形があると感じた。発表している子どもたちは、多摩川が大好きなんだと思った。自然と関わることは、教育においても重要だと感じた。
- みんなすごかった。
- 勉強になった。
- すごく勉強になった。また参加したい。
- ボート教室では、4人の息を合わせ、チームワークの醸成を目標としているが、その過程で、友達と親しくなるだけではなく、自然を愛で、多摩川の環境保全にも留意する意識が芽生えるとは、ボートを支えるスタッフとしては、望外の喜びである。その他、発表時間の上限を設けてはどうか。大勢で発表する場合、スムーズに行くよう、練習するのも大切だし、画像の編集も大切。
- 良く研究している。
- 大人が気付かないこと、子どもの才能を感じた。兄弟愛が良かった。子どもが発表する場として良い。この発表を期に、自信ややる気感、環境に興味を持てると良い。
- ⑥番の発表について、大都会でも、このような楽しみ方があると知ってビックリした。

質問 次回は自分も発表したいですか。

	回答者数	構成比		回答者数	構成比
●発表したい	6人	16.2%	●周囲の人に参加・発表をすすめたい	12人	32.5%
●発表はしたくないが参加したい	8人	21.6%	●不詳	11人	29.7%
●参加しない	0人	0%			

～川崎市立下布田小学校 せせらぎ委員会～



僕たちは川崎市立下布田小学校のせせらぎ委員会です。
よろしくお願いします。



せせらぎ委員会は4年前に下布田小学校にできました。せせらぎ観察園は学校の敷地の中にあります。このせせらぎ観察園までの距離は昇降口から歩いて10秒くらいです。今日はこのせせらぎ観察園の様子を映像でまとめました。せせらぎ観察園びっくり映像というかたちで紹介します。

まずは第3位です。第3位はせせらぎ観察園にたくさんの生き物がいるということです。

それでは映像をご覧ください。

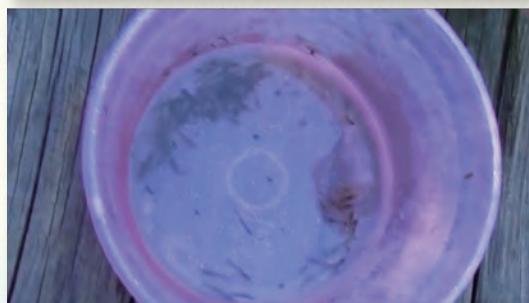
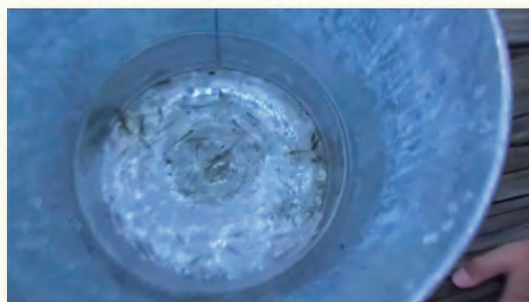


第3位

10分間でとった生き物たちです。

これがちっちゃい魚で、こっちはヌマエビです。

たくさんとれました。



川崎市 下布田小学校

6年 宇都宮 則子

うつのみや のりこ

紺野 愛気

こんの あいき

5年 今 秋翔

こんしゅうと

小栗 大芽

おぐり たいが

須川 徹也

たかす ゆたか

久保田 健斗

くぼた けんとう

中西 輝

なかにし こう

これは片岡先生が3秒でとったアメリカザリガニです。12匹とれました。



こっちは大きな魚です。



せせらぎ観察園では映像の中の生き物以外にもカマツカやギンブナなどの魚やハグロトンボなどの昆虫などがたくさんいます。ぼくたちはそうした生き物を普段から見ることができます。

続いて第2位です。第2位はせせらぎ観察園に水車があるということです。それでは映像をご覧ください。

第2位

せせらぎには水車があります。水車はせせらぎ委員会で
つくりました。水車はせせらぎのなかでの新しい自慢です。



この水車は今年の2月に製作されました。せせらぎ委員
会も一緒に作りました。完成した時には全校の前で水車完
成式を行ないました。せせらぎ観察園に流れている水の量
だけで水車を回すのはとても難しいと専門家の方は言うて
いました。

実は今この水車が回らないので困っています。せせらぎ
委員会では水車が回るように水を送るパイプを掃除した
り、水を送るパイプの部材の石を直したりしています。

それではせせらぎ観察園びっくり映像第1位です。第1
位はかわせみです。

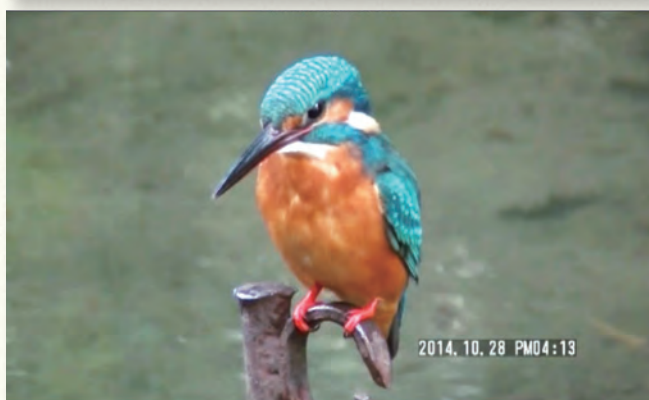
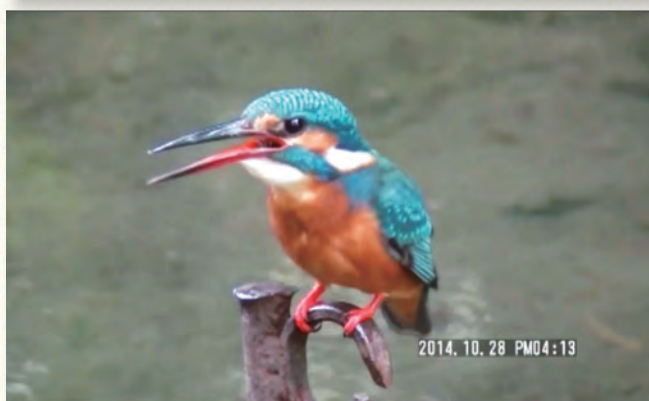
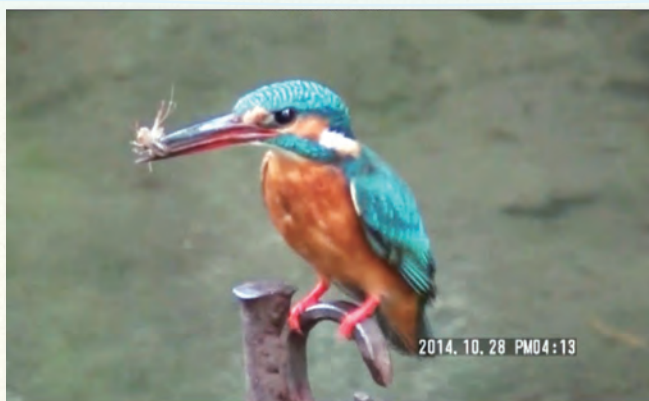
せせらぎ観察園では毎日のように見ることができます。

そしてせせらぎにやってくる、かわせみを撮影しまし
た。とても貴重な映像です。ご覧ください。

第1位 かわせみ



そしてさらに、かわせみを追い続けていた先生が、もの
すごい映像の撮影に成功しました。かわせみがえさを食べる
瞬間、つかまえる様子がびっくりする程よく分かります。
続けて映像をご覧ください。



せせらぎ観察園のびっくり映像はいかがでしたか？

せせらぎ観察園は僕たち下布田小学校の宝物です。これ
からもせせらぎ観察園を大切にしていきたいと思ってい
ます。

今日は発表を聞いてくださりありがとうございました。

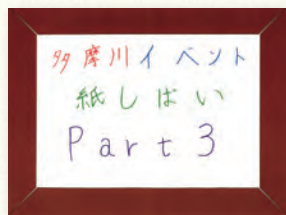
これで、下布田小学校せせらぎ委員会の発表を終わリ
ます。

～青梅市立河辺小学校～



青梅市 河辺小学校 3年 丸山 幸希
1年 丸山 友希

まるやま こうき
まるやま ゆうき

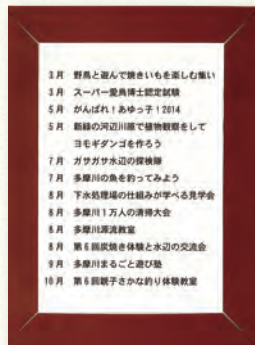


「多摩川イベント紙しばい パートスリー」
はじまり、はじまり～。

去年は多摩川で色々なたいけんをして、それを紙しばいにして発表しました。

ことしは小学1ねんになったわたしも、おにいちゃんといっしょにはっぴょうします。

ヨモギダンゴ作りや源流体験、炭焼きなど、色々なたいけんをしました。そして、色々な発見がありました。



5月 ヨモギダンゴ作り① 5月 ヨモギダンゴ作り②



5月17日 かべ川らでヨモギダンゴをつくりました。

川らでたくさんのヨモギをとることができました。とてもいいにおいでした。ゆでたヨモギをつぶすのがとてもたいへんでした。

つぶしたヨモギにこなをまぜて、ダンゴのかたちにしてゆでて、かんせい！もちもちしていておいしかったです。食べたときに、はなの中でヨモギのいいにおいがしました。また行きたいです。

3月 野鳥観察と焼き芋



3月1日 河辺川原で野鳥観察をしました。

この写真は、少しはなれたところにいる鳥をそうがんきょうからかんさつしているところです。

ジョウビタキ、イカル、コゲラなど、はじめて見た鳥もいてうれしかったです。

鳥のかんさつがおわった後、やさしいものを食べました。ほくほくしていてとてもおいしかったです。

この日は雨でしたが、雨の中でも野鳥観察ができることを知りました。

3月25日 2回目のテストで、スーパー愛鳥博士に合格することができました。

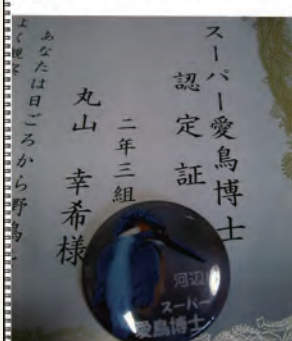
カワセミのバッチがかっこうよくて、もらえてうれしかったです。

河辺小学校は、東京都の愛鳥モデル校です。

「スーパー愛鳥博士」は、鳥の鳴き声を聞いてその名前を当てるという難しいテストです。

いろいろな鳥の鳴き声をおぼえて、もっとくわしくなりたいです。

3月 スーパー愛鳥博士に合格



7月 河辺川原でつかみどり



7月5日 かべ川らで、ヤマメとニジマスのつかみどりをしました。

ことしの5月につかみどりをたいけんしていて、ことし2かいめのつかみどりだったので、じょうずになっていました。

たくさんあそんだあと、しおやきをたべました。3ぼんくらいたべました。すごくおいしかったです。

7月 川原で塩焼き、うまいっ！



7月 心臓の大きさを知る



【クイズ】

カッターをつかって、お魚のおなかをさきました。ちがすごく出てきてびっくりしました。

しんぞうはすごく小さかったです。心ぞうを取っても「どくんっ、どくんっ」と動いていました。

【クイズ1】
人間の心臓の大きさは？

- ①こぶし1つ分
②こぶし2つ分
③こぶし3つ分

さてここでクイズです。人間の心臓の大きさはどれくらいでしょうか。

- ①こぶし1つ分
②こぶし2つ分
③こぶし3つ分

せいかいは、こぶし1つ分です。

5月 釜の淵公園で稚鮎の放流



5月11日 かまのふち公園でおこなわれた、ちあゆのほうりゅうに今年もさんかしました。

ちあゆとは、あゆの赤ちゃんのことです。

やさしくさわってみました。ぬるぬるしていて、小さくてかわいかったです。すごくげんきでバケツのなかでとびはねました。

あゆはとうきょうわんまで川をおりて、うみをおよいで、そしてまた、たま川をのぼります。

けがしないでおうめにもどってきてほしい。そうおねがいしました。

7月 あんま釣りでハヤ釣れた

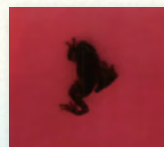


7月20日 かまのふちこうえんで、はじめてあんまづりをやりました。

いしにくっついた川むしをつかまえて、はりにさして川のなかでさおをうごかします。

なかなかつれなくてつかれたけど、ハヤがつかれたときはとてもうれしかったです。

川らをあるいていたらカジカガエルをみつけました。しっぽがのこっていました。小さくてとてもかわいかったです。



8月 昭島の下水処理場を見学



8月1日 あぎしましのげすいしよりじょうのけんがくにいきました。

わたしたちのおうちのおふろやトイレ、だいどころからながれた水を、ここできれいにしているということを学びました。そしてまた、たまがわにながしています。

げすいしよりじょうからのねがい。

- ・おふろのおゆは、さめてからすてましょう。
- ・しよっきのよごれは、ふきとってからあらいましょう。

8月3日 いちまんにんのせいそうたいかいにことしもさんかしました。

ことしもゴミがたくさんありました。なぜゴミをすてる人がいるのかわかりません。川にゴミがあったら、川であそびたくない。だから、このようなみんなでゴミをひろうイベントがあるのだとおもいます。

8月 1万人の清掃大会に参加



なぜゴミが落ちているのかをいつも考えています。ゴミが少ないほうが気持ちよく住めるからです。

すてている人がいるからゴミがある。それをぼくたちがひろっている。ゴミがなければゴミひろいはひつようありません。

8月 山梨で多摩川源流体験



8月5日 山梨県のこすげむらで多摩川源流きょうしつにさんかしました。

ライフジャケットを着てヘルメットをかぶって、ロープを使って岩をわたりました。

おおきなカエルや天然のヤマメに会うこともできました。

【クイズ】

さわをいっしょうけんめいのぼりました。流されないように転ばないようにするのがたいへんでした。多摩川の源流はとてもつめたかったです。

さてここでクイズです。
多摩川の源流のこの日の水温はどれくらいでしょうか。

- ① 5度
- ② 9度
- ③ 16度

せいかいは、16度です。

8月 竹炭作りに挑戦！



8月22日 すみやきたいけんともずべのこうりゅうかいにさんかしました。

たけずみをつくるために、たけわりをやりました。どうぐがおもくてけっこうむずかしかったけど、なれたらひとりできました。

今年も4メートルの高さの岩からとびこみました。

このしゃしんは、ともだちの岡部弘くんと手をつなぎいっしょにとびこんだ時のものです。とてもよい思い出になりました。

8月 4メートルの岩からジャンプ



わたしはこわくてなかなかとびこめませんでした。でもひくいところからおもいきつてとびこみました。

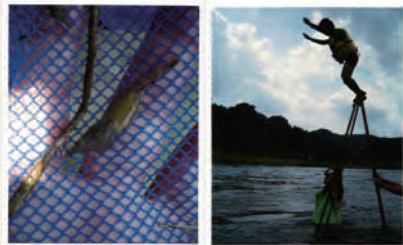
水のなかにドボンとかおまではいってびっくりしたけど、とてもたのしかったです。

9月6日 かべ川らでガサガサをしました。

おとうさんとおにいちゃんはいろいろないきものをつかまえていたけど、わたしはなんどやってもエビばかりでした。

らいねんはいろろつかまえたいです。

9月 河辺川原でガサガサ 9月 はしごからジャンプ！



多摩川の中においたはしごから川にジャンプっ！楽しくて何回もやりました。

【クイズ】

この日はいどうすいぞくかんがきてくれました。

ミシシippアカミガメにえさをあげました。ミシシippアカミガメとはミドリガメのことです。かわいかったです。

9月 ミドリガメへエサやり



【クイズ3】

ミドリガメのオスの特徴は？

- ① 耳が赤い
- ② 爪が長い
- ③ 鼻が高い

さて、ここでクイズです。

ミシシippアカミガメのオスのとくちょうはなんでしょう。

- ① みみがあかい
- ② つめがながい
- ③ はながたかい

せいかいは「まえあしのつめがながい」です。
こんどよくかんさつしてみてください。

10月26日 おやさかなつりた いけんにさんかしました。

はりにひっかったさかながあばれてにげられたときは、くっそーとくやしいきもちになりました。

さかなをつりあげたとき、さかなはおもいということをしることができました。

去年は一びきしかつれず、とてもくやしかったです。

今年は20びきいじょう。たくさんつれてとてもうれしかったです。

10月 魚釣り、大漁！



このように今年も色々なたいけんをして、色々な発見がありました。今年も東京だけでなく、山梨のこすげむらにも行きました。

妹もいっしょにたくさんたいけんをしました。

ぼくの一ばんの思い出は、源流たいけんをしたことです。



たまがわが大すきです。

おーしーまーいっ！

わたしの一ばんのおもいでは、たくさんさかなをつることができました。

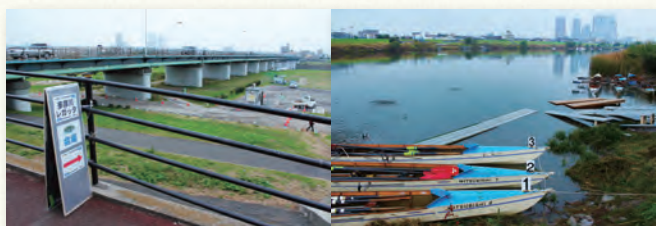
らいねんもいろいろなイベントにいきたいです。

おしまい
Part 3

～多摩川でボートを楽しむ会～



三鷹市 南浦小学校 4年 いそがい つとむ 磯貝 努



ぼくは、月に2回「多摩川でボートを楽しむ会」で、ボートをこいでいます。ボートを始めたきっかけは、兄が高校でボート部に入っているからです。ぼくもボートの試合に出てみたいので始めました。



ぼくがボートをこいでいる時に、最初に気がついたことは、川は気象の影響を受けているということです。それは、雨の後には川の水量が増し、風が強くなれば波が立ち、ボートがゆれます。これはボートに乗ることによってわかることです。



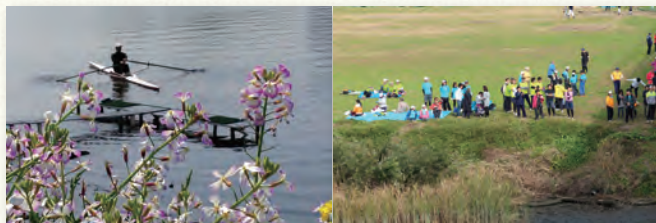
ボートで一生涯命にこいだ時に受ける風は、とても気持ちよく格別です。けれど、もしもこれが昔のよごれた川のままであったら、こんなにさわやかな風ではなかったでしょう。

たくさんの人の努力で、今ではきれいな川になりました。しかし、残念なことに、時々ゴミがうかんできているのを見かけます。



ぼくはボートが好きなので、長く続けていくために多摩川の自然を大切にしていきたいと思います。

まずすぐにできることは、多摩川に来たときにはゴミを必ず自分で持ち帰り、川や川岸をよごさないようにすることです。それに加えて大切なことは、ぼくが多摩川のことをもっと好きになって、多摩川のことを知ることです。



そして、多摩川のよさをなるべく多くの人に伝えていきたいと思います。毎年秋には、ガス橋付近で多摩川レガッタが開きいされます。ぼくは多摩川レガッタに祖母やいとこを招待します。ぼくたちが試合でがんばるすがたといっしょに、多摩川の自然のよさを知ってもらうベストチャンスです。



これからも、多摩川のためにもボートを続けていきたいと思っています。



～多摩川でボートを楽しむ会～

僕が、多摩川でボートを楽しむ会に参加したきっかけは、江ノ島のカヤック、洗足池の手こぎボートなど、以前からボートが好きだったので、母が近所でボートをこげる所を探してくれた事です。



始めは、母と一緒に月に1、2回くらいのペースで始めました。これまで、ぼくは学校の授業や、遊びなどで多摩川は何度も来た事がありましたが、ボート乗り場のさんばしには、まるで気がつきませんでした。初めて、ボートをこいだ時、いすが動く事にも、びっくりしました。



今のボートのメンバーとは今年のお台場レガッタで初めて会いました。

その時、練習するのも会うのも、はじめてのメンバーで、しっかり合わせてこげるか心配でしたが、大会の時は案外、息が合って大丈夫でした。



大田区 多摩川小学校 4年 みやもと つばさ 宮本 翼

ボートに参加する目的は、最初のころ、体をきたえるため、将来の仕事のためと思っていましたが、今は3回大会に出場出来て、よかったと思うし、こいでいる時は熱い気持ちになりました。



ボートをこぐタイミングが4人合ってきたら、スピードが出てきて、気持ちがいいです。

今のボートのメンバーはとてもおもしろい子や、かしこそうな子や、色々な子がいて楽しいです。



ボートの楽しみは、こぐだけではなくありません。止まって、川や空を見たり、コックスに多摩川の事を教えてもらいました。



ぼくは、この「多摩川でボートを楽しむ会に入って、良かったと思う事は、テニスや、サッカーなど、他のスポーツもやろうと思えるようになった事です。



みんなでもっといっぱい練習して、今度の大会では表彰台に立ちたいと思います。

～稲城市立稲城第六小学校～



多摩川をさぐれ

～多摩川の学習を通して考えたこと～



稲城市立 稲城第六小学校 4年生

僕たちは生き物をもっと増やしていきたいと考えました。特に魚が増えるようにと考えました。魚にはウグイなどの色々な生き物がいます。例えば、ウグイだとヒレは透明で、おなかには黒いスジみたいな線があるという特徴があります。

私たち稲城第六小学校の4年生は総合学習の時間に多摩川に行き、多摩川について調べました。それをまとめたものを発表します。

生物をもっとふやしていきたい

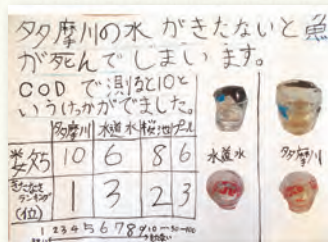
～魚がふえるように～

魚にはウグイなどのいろいろな種類の生物がいます。

ウグイ

ヒレ

黒い



多摩川の水をCODという薬品ではかると10という数値がでました。CODという薬品は1に近づくほどきれいで、100に近づくほど汚いということです。多摩川だけでは比べにくいので、水道水と学校にある小さな池の桜池と学校の使わなくなったプールと比べてみると、多摩川が一番汚いのがわかりました。水道水と多摩川の水を比べてみると、水道水の水がきれいで濁っていないくて、多摩川の水は少し汚くて、濁っているのがわかります。



水が汚くなると、魚が死んでしまいます。魚が増えないで、逆に減ってしまいます。魚を増やすためには、川の中にあるゴミを拾いましょう。深いところのゴミを拾うと危険なので、なるべく浅い所のゴミを拾いましょう。ゴミを川に捨てないようにしましょう。ゴミを川に捨てると魚が間違えて、食べてしまって死んでしまうことがあります。また、ゴミが魚にあたっで死んでしまうことがあります。ゴミなどを川に投げ込まないようにしましょう。このことに協力して、魚をもっと増やしましょう。

水がきれいになると魚が死んでしまいます。

魚がふえないで減ってしまいます。

魚をふやすためには

川の中にあるゴミを拾いましょう。ゴミを川に捨てないようにしましょう。石などを川に投げ込まないようにしましょう。このことに協力して魚をふやしましょう。

次に多摩川の鳥と人との関わり方についての発表をはじめます。多摩川にはたくさんの鳥がいます。けれども、その鳥と人はあまり関わっていないと感じたので、この題にしました。多摩川の鳥を増やすには、まず、守る必要があります。また、守

稲城市 稲城第六小学校 4年

梅沢 柊太

武田 菜々美

米村 智之

久保野 敦也

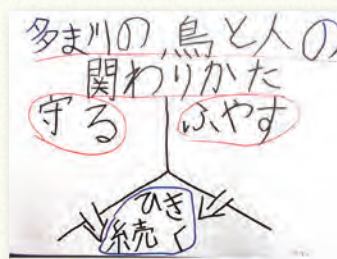
峰尾 夏樹

高津 杏果

横田 詩音

るだけでも増えなければ仕方がないので、増やすことも必要です。それで、次の時代に引き続くというのが、僕の提案です。

鳥の種類です。鳥の種類には、セグロセキレイというものがいます。セグロセキレイとは、白と黒の小さいスズメくらいの大きさの鳥です。他にも



鳥の種類	
カワカラス	カワラビフ
セグロセキレイ	タサギ
ノスリ	カワセミ
マガモ	オオタカ



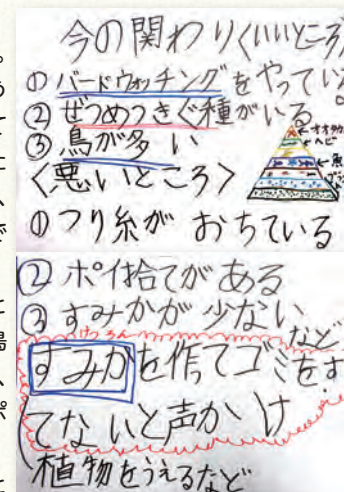
ノスリやカワセミ、オオタカなど、都会では見られない鳥がたくさんいます。オオタカは都会では見られない絶滅危惧種です。つばさの模様が横向きで白いです。子どもの頃は模様が縦向きです。カワセミは尾が短く、くちばしが長いという特徴があります。また、飛んでいないときは、岩につかまって魚を待っているときです。これらは都会では見られません。大切にしてください。

今の関わり方のいいところです。

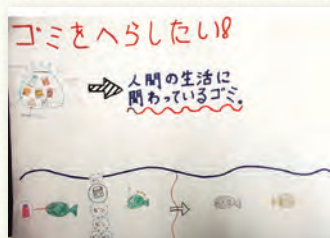
- ① **バードウォッチング**をやっているということです。バードウォッチングをやっていると、鳥の観察をすることができる人がいるということだと思いました。
- ② **絶滅危惧種**がいる。絶滅危惧種がいると、それだけ自然豊かだということです。
- ③ **鳥が多い**。鳥が多いと、この生物ピラミッドが整っているということです。生物ピラミッドが整っていれば、鳥が多いわけです。

悪いところは3つあります。

- ① 釣り糸が落ちていているということです。釣り糸が落ちていいると、鳥にひっかかったり、こんがらがったりして、鳥が動けなくなって死んでしまいます。
- ② ポイ捨てがあるということです。ポイ捨てがあると鳥が食べて死んでしまったり、自然破壊にもなります。ポイ捨てはやめてください。
- ③ すみかが少ないということです。すみかが少ないと鳥が棲む環境が整っていないため、鳥が棲みにくくなります。



結論は、**すみかをつくって、ゴミを捨てないと声かけをする**ということです。すみかというのは植物を植えるだけでも、鳥にとってはエサになったり、棲む場所になったりすることもあります。



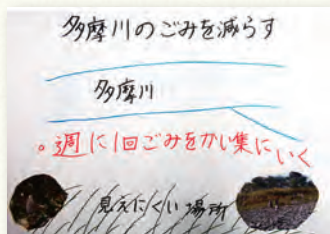
私たちは**ゴミを減らしたい**という意見を考えました。多摩川には主に缶、有害物、ビニール、ビン、ペットボトルが落ちていました。このゴミは人間の生活に関わっているゴミだと考えました。

もし、ゴミがあると、さかかにビニールがからまったり、ルアーがひっかかったりしてしまいます。鳥にはガラスがささったり、シートがからまったりします。さらに消火器や電池もありました。



この写真です。うきがあるということは、この近くにうきについていた、つり糸やルアーがあるかもしれないということです。それが鳥やさかかにひっかかったら、大変なことになってしまいます。ゴミがないようにする心がけは、ゴミ箱を置くことと、看板を置くこと、ボランティアの人がゴミを拾うことです。川の中のとれないゴミは網などを使ってとるといいと思いました。

そこで、私たちは**決まった期間に1回、ゴミを回収していく**ことを考えました。特にゴミがあった場所はここです。



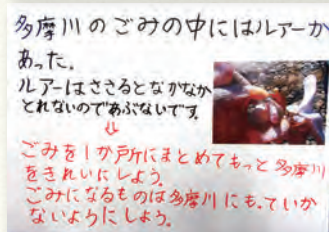
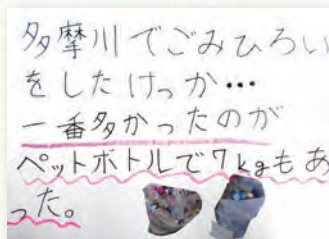
これは草むらの中の写真です。このようにペットボトルやそのほかのゴミが隠されて捨ててありました。多摩川に行き、4年生全員でゴミ拾いをしました。特に後ろの写真の草むらの中が、一番多かったです。



15分で集めたゴミ

多摩川のごみの種類	ごみの量(kg)
紙、木くず	0.5
発泡スチロール	0.5
布	0.5
ビン、カン	0.8
プラスチック	1.5
ビニール	3.5
有機物	3.5
金ぞく	4
ペットボトル	7
合計	21.8kg

6小の前の多摩川で、**15分間で集めたゴミの量**です。一番少なかったのが、紙、木くず、発泡スチロール、布の0.5kgでした。その他で10種類ものゴミを拾いました。合計で21.8kgものゴミが見つかりました。



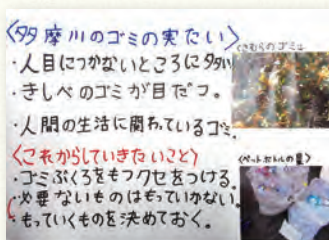
多摩川に持っていかないことを考えました。

このままだと**多摩川の自然が危ない**です。だから決まった期間に1回、ゴミ拾いをすればいいと思いました。**ゴミ拾いをすれば、川がきれいになり、さかなや鳥が安全に棲めるようになります。**

多摩川でゴミ拾いをした結果、**ペットボトルが一番多くて、7kgもありました。**

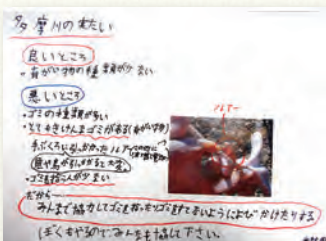
多摩川のゴミの中にはルアーがありました。この写真はゴミ拾いをして、実際にルアーにひっかかった人の写真です。大変危険だったので、わざとルアーを捨てるのは止めましょう。鳥にひっかかって死亡する危険性があるのでやめましょう。そこで私たちは、**ゴミを1か所にまとめることと、ゴミになるものは**

このままだと、**多摩川の自然が危ない**。月一回ゴミひろいをする。そうすれば川がきれいになり、魚や鳥が安心してすめる。



多摩川のゴミの実態です。多摩川のゴミの実態は3つあります。1つ目は人目につかないところに多いこと。2つ目は岸部のごみが目立つこと。3つ目は、人間の生活に関わっているゴミということです。草むらに落ちていたゴミです。草むらに隠れて落ちていました。これからしていきたいことは、**ゴミ袋をもつ癖をつけること。必要ないものはもっていかない。**持っていくものを決めておくことが大切だと思います。

同じく多摩川の実態で、**多摩川の実態の良いところは、有害物は3種類しかなくて少なかったこと**です。悪いところは3つあって、一つ目は**ゴミの種類が10種類と多いことと有害物があること**です。この写真は手袋にひっかかったルアーの写真です。こんなものがさかなや鳥にひっかかると大変なことになってしまいます。このほかにも、消火器や電池がありました。あと、**ゴミを拾う人が少ないこと**です。ゴミを拾う人が少ないと、ゴミが少なからずに、増えるだけになってしまいます。なので、みんなで協力して、**ゴミを拾ったり、ゴミを捨てないように呼びかけたり**することを考えました。



これで、私たち稲城第六小学校4年生の発表を終わります。

多摩川連想ゲーム PART IV

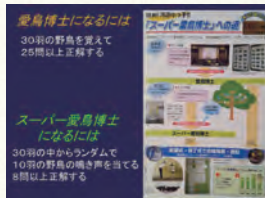
(復活編：御岳バージョン)



～青梅市立河辺小学校～

河辺小学校は平成19年に「東京都愛鳥モデル校」に指定され、野鳥に親しむ活動をしています。

学期末ごとに「愛鳥博士テスト」と「スーパー愛鳥博士テスト」があります。「愛鳥博士テスト」は30問中25問以上の野鳥を正解すると合格になります。「スーパー愛鳥博士テスト」は鳥の鳴き声を10問中8問以上判別すると合格になります。「愛鳥博士テスト」に合格すると次のステップとして受けられます。



僕は「愛鳥博士」と「スーパー愛鳥博士」です。僕は1年生で「愛鳥博士」に合格しました。担任の先生が30羽の野鳥の名前を覚えやすい歌にして繰り返し教えてくれたのでテストはすぐ合格できました。

これは「愛鳥博士の合格バッジ」です。ジョウビタキのオスです。

ぼくは、愛鳥博士のテストを1年生の1学期と2学期にうけたけど、うかりませんでした。ぼくのお兄ちゃんは今までの1年生の中で、1番早く愛鳥博士に合格した記録を持っているので、その記録をやぶろうとしたのに難しくて、やっと1年生の3学期に「愛鳥博士テスト」に合格しました。

そして2年生で「スーパー愛鳥博士」に合格しました。とってもうれしかったです。

僕は第1号の「スーパー愛鳥博士」です。

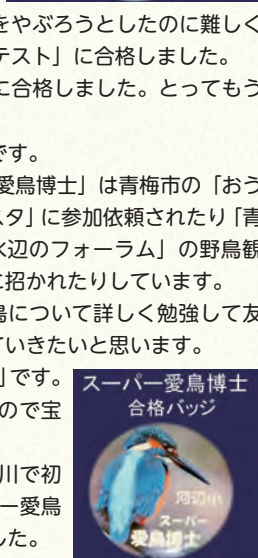


「スーパー愛鳥博士」は青梅市の「おうめ環境フェスタ」に参加依頼されたり「青梅・多摩川水辺のフォーラム」の野鳥観察ミニ講師に招かれたりしています。

もっと野鳥について詳しく勉強して友達にも広めていきたいと思っています。

これは「スーパー愛鳥博士の合格バッジ」です。ぼく達の大好きなカワセミのバッジなので宝物になりました。

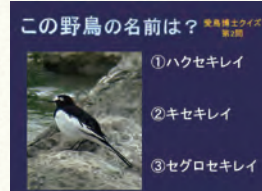
カワセミの鳴き声が覚えてから、多摩川で初めてカワセミを発見できたので、「スーパー愛鳥博士」になれて本当によかったと思いました。



青梅市 河辺小学校 5年

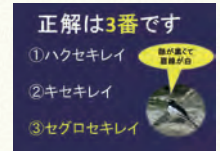


愛鳥博士テスト 第2問！

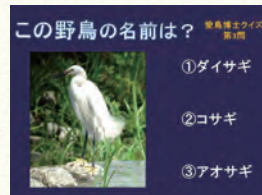


1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

正解は3番。セグロセキレイです。

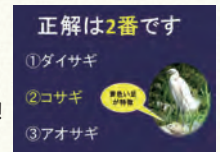


愛鳥博士テスト 第3問！



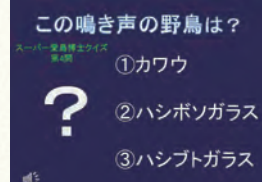
1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

正解は2番。コサギです。足が黄色ならコサギと分かります。



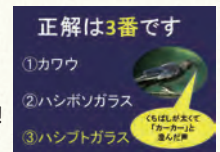
第4問は野鳥の鳴き声を当てるスーパー愛鳥博士テストです。

(鳴き声の音声が流れます)



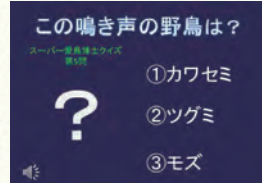
1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

正解は3番。ハシブトガラスです。ハシブトガラスはハシボソガラスよりも鳴き声が澄んでいます。



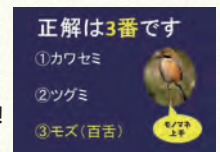
スーパー愛鳥博士テスト 第5問！

(鳴き声の音声が流れます)



1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

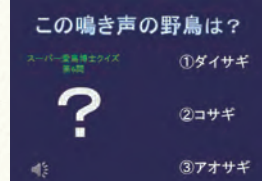
正解は3番。モズです。モズは「百の舌」と書き、鳥の物真似が得意です。



第6問！

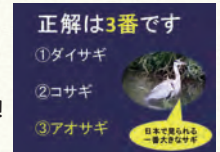
最後は超難問スーパー愛鳥博士テストです。

(鳴き声の音声が流れます)



1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

正解は3番。アオサギです。



全問正解できた人はいますか？興味のある方はぜひ河辺小学校へ転校して「愛鳥博士テスト」や「スーパー愛鳥博士テスト」を受けてみて下さい。

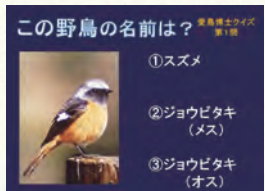


～河辺小クイズ～

「きみも 愛鳥博士！」

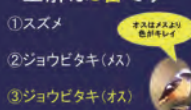
「きみもスーパー愛鳥博士！」

愛鳥博士テスト 第1問！



1番だと思う人！
2番だと思う人！！
3番だと思う人！！

正解は3番です



正解は3番。ジョウビタキのオスです。



今回は、今年の8月に多摩川上流の御岳溪谷で「美しい多摩川フォーラム」の「炭焼き体験と水辺の交流会」へ初参加したことを発表します。

初めに「竹の炭焼き体験」をしました。

ドラム缶炭焼き窯の長さに合

わせて切った竹を4等分に割る作業をしました。竹割器という秘密兵器で竹を割っていき

ますが、初めてなので難しかったです。ナタを使った事も持った事も、ナタで竹の節を取る作業も全部が初めての体験でした。慣れてくるともっとたくさん竹割をしたいと思いました。

窯詰め作業では下から隙間なく詰めてい



きました。ドラム缶の蓋をしたら周りを土粘土で覆いました。ドラム缶の窯では断熱と保温が重要みたいです。いよいよ点火です。点火後は、しばらく時間がかかるので今度は「ヤマメ・ニジマスのつかみ取り体験」と「魚の解体学習」に行きました。

「魚のつかみ取り」は「青梅・多摩川水辺のフォーラム」のイベントで何回も体験しているので得意です。「魚の解体学習」では解体しても少しの間は心臓が動いている事を確認しました。



昼食は自分達でつかみどりした魚を塩

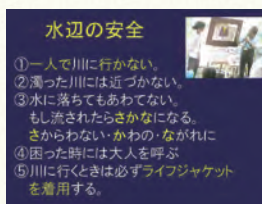


焼きにして食べ

られたのでとても満足でした。竹炭は2時間経過したら炭化がはじまったので「着火」しました。煙の色やにおいが変わってきました。完全な竹炭になるには3日後なのでここまです炭焼き体験となりました。帰りに、お土産として昨年作った竹炭をいただきました。



竹炭は消臭・殺菌作用が優れているので僕達と兄の部屋に置きました。



昼食後は山ちゃん先生の紙芝居で「水

- 辺の安全」について学びました。
- ①一人で川に行かない。
 - ②にぎった川には近づかない。
 - ③水に落ちてあわてない。

もし流されたらさかなになる。

さからわれない・かわの・ながれに

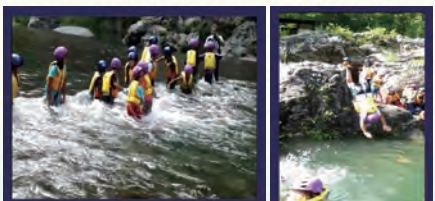
④困った時には大人を呼ぶ。

⑤川に行くときは必ずライフジャケットを着用する。

多摩川の近くに住んでいる僕達にはものすごく大切なお話です。友達にも教えたいお話です。

最後に「ライフジャケット浮力体験」をしました。御岳の急流が多摩川ではライフジャケットを着て手をつなぎ1列に並ぶだけでも流されてしまい、ふんばる事も大変でした。みんなと手をつないで川を流れた時はとても気持ちよかったです。

岩から飛び降りるのは迫力満点です。ヘルメットもかぶっているから安全だけど岩から川を見下ろすとかなり高くて最初は足もブルブルしました。飛び降りたら川が深くてなかなか水面上がってこれなくてドキッとしました。でもライフジャケットがあった事に気づいて安心しました。



御岳は同じ青梅市なのに河辺よりもっと自然が豊富にあって驚きました。山がすぐ近くにそびえたっているし、大きな岩も川の流れにも迫力がありました。

御岳溪谷は「日本名水100選」にも選ばれている景色の良いところです。深呼吸をすると新鮮な空気が体に入ってくる感じがしました。たっぷりの大自然の中で僕達は生きていると思った1日でした。この大自然を破壊しないためにも学校で学んだ環境問題やイベント参加で教えてもらった貴重な体験は大人になっても覚えていたいと思います。

青梅には安全に遊ぶイベントがたくさんあるのでうれしいです。

「青梅・多摩川水辺のフォーラム」では河辺河原で野鳥観察や焼イモを焼いたり、植物観察やヨモギ団子を作ったり、マスのつかみ取りをして焼いて食べるのは最高にいいです。これからももっと自然と触れ合えるイベントに参加したいです。



さいごに多摩川を連想したゲームをしたいと思います。

多摩川連想ゲーム PART IV	たまがわ・たまがわ・たまがわ たまがわと言ったら...	鮎 (あゆ) 鮎 (あゆ)と言ったら
塩焼き(しおやき) 塩焼き(しおやき)と言ったら	炭火(すみび) 炭火(すみび)と言ったら	竹 (たけ) 竹 (たけ)と言ったら
緑 (みどり) 緑 (みどり)と言ったら	野鳥 野鳥と言ったら	河辺小 愛島モデル校 東京都 河辺小と 言ったら
スーパー愛鳥博士 スーパー愛鳥博士と言ったら	誇り(ほこり) 誇り(ほこり)と言ったら	自然 しぜん 自然と言ったら
弱肉強食(じゃくにくきょうしょく) 弱肉強食と言ったら	外来種 外来種と言ったら	タマゾン川 タマゾン川と言ったら
問題 問題と言ったら	地球温暖化 地球温暖化と言ったら	守れ! (まもれ) 守れと言ったら
絶滅危惧種(ぜつめつぎんしゅ) 絶滅危惧種と言ったら	大切(たいせつ) 大切と言ったら	多摩川 多摩川と言ったら
だ~いすき	おわり (*A0A*)/~~~~~	以上で終わります。 ありがとうございました。



日野市 潤徳小学校

6年

かわむら まりあ ^{もえ} マリアンナ萌

5年

かたおか さき ^{たけうち} 咲紀 竹内 あかり

4年

あきや ゆい ^い 秋谷 優衣

3年

1年

いのかわ ふたば ^{こうの} 井ノ川 双葉ねね ^{おお} 河野 希音^{とどろき} 轟 玲奈^{ひじかた} 土方 美藍^や おいた ^{なぎさ} 八百板 渚紗^{おお} 大和田 眞杏

水辺の楽校とは・・・

浅川や向島用水、トンボ池の自然豊かな環境で、子どもたちがおもいっきり遊んだり、学んだりすることのできる自然体験の場のこと

浅川と潤徳小学校の子どもたち



これから、浅川潤徳水辺の楽校の発表をはじめます。

水辺の楽校とは、浅川や向島用水、トンボ池の自然豊かな環境で、子どもたちが思いっきり遊ぶことができる自然体験の場のことです。

この水辺の楽校は、日野市立潤徳小学校とともに深い関わりがあります。

潤徳小学校のすぐ裏側には、浅川が流れています。

毎月1回開か

れる、「潤徳水辺の楽校」では、自然のことを学んだり、浅川の野原や川で楽しく遊ん



だりすることができます。また、潤徳小学校では、国語や理科、生活科や総合など様々な授業で、浅川やトンボ池へ実際に行き、勉強をしています。授業で使っているトンボ池は、浅川から水を引き込んだ用水に作られたビオトープです。

その用水をずっとたどっていくと、5年生で使わせていただいている田んぼが

あります。毎年5年生では、地域の方の田んぼを借り、水辺の楽校の皆さんから米作りを教



えていただく貴重な場でもあります。

このように、私たち潤徳小学校の子どもたちは、浅川や水辺の楽校の人々とも深くかかわっているのです。

4月は毎年、多摩川・浅川クリーン作戦に参加しています。

5月は、浅川であそぼう1です。竹笛を自分で作ったり、石に絵をかくたりしました。ほかに竹馬にのったり、竹ボックリであそんだり、テングの下駄に挑戦したりもしました。普通の遊びではできない遊びに夢中になりました。



5月、5年生が田植えに向けて苗作りをしました。あっという間に芽が出てきてとても驚きました。

6月は身近な水環境の一斉調査です。

(今年は、雨で出来なかったで、写真は去年のものです。)

毎年、浅川、向島用水への取り入れ口、水車小屋前の3か所の水質を検査しています。自分たちの身近なところに、きれいな水が流れていることがわかってとても嬉し



ザリガニやエビ、小魚など色々な生き物を見られるのは、きれいな水が流れているからなのだと改めて思いました。

それでは、ここで1年生の河野希音さんの作文を紹介します。

「とんぼいけだいすき」 こうの ねね

とんぼいけには、カワセミやいろいろなおさかながたくさんいます。それは、お水がきれいだからだよと、生かつかのじかんにおしえてもらいました。

わたしは、生かつかのじかんにおさかなとりができてうれしいです。えびもとれました。

おさかなをはじめて手でさわりました。つるつるしてて、すぐにおとしちゃいました。水べのおじいいろいろなさかなの名まえをおしえてもらってすごうれしかったです。

あめんぼもとれました。あめんぼがいけの上ですすいとスケートをしているみたいによやくうごいていて、とてもかっこよかったです。

生きものがたくさんいるとんぼいけが、わたしはだいすきです。だいすきなとんぼいけをこれからもたいせつにしたいです。

河野さん ありがとうございます。



6月、5年生が田植えを行いました。

みんなで一列になって行った初めての田植えは、足が泥にはまってとても大変でした。

7月は、浅川の源流体験です。

ここでの体験を劇にして紹介します。片岡咲紀さん、竹内あかりさん、大和田眞杏さんお願いします。

劇

浅川ってこんな高い山の方に流れているんだね

量多いね。

ねっ、ここから飛び込んでみようよ。

わっ高いよ、怖い！

大丈夫だよ、あさみ！

やっぱり無理、怖いもん！

頑張ってみなよ！

よーし！（ジャンプ）

飛べて良かったね。

今度は何して遊ぼうか？

メタセコイヤの化石を探そうよ。

魚を取ってみようよ。

川で泳ごうよ。

じゃ、順番にやってみよう！オー！



劇（おわり）

ありがとうございます。

源流体験では、色々なあそびができて、浅川が大好きになりました。浅川の源流体験では、このほかにもメタセコイヤの化石を見つけたり、川の流れに身を任せて泳いだり、たくさんの楽しい体験をすることができました。





8月は、浅川であそぼう4です。
毎年、ふれあい橋の近くで、思っきり水遊びをします。今年は雨で、活動ができず、とても残念でした。

(写真は、以前の記録を使用しています。)

私は、去年、この「浅川であそぼう4」に参加しました。

脚立から浅川にとびこんだり、川で泳いだりとても楽しかったです。脚立からとびこむときは、思っていたよりも高さがあって怖かったです。だけど、一度とびおりたら、とても気持ちがよくて何度もとびこんでしまいました。

8月には、5年生で田んぼの草取りをしました。

6月に植えた苗が自分の肩くらいの高さに伸びていて、とても驚きました。雑草もたくさんあって、「おいしい米ができるように」心をこめて草をとりました。



9月は浅川であそぼう5です。浅川の野原でバッタ取りをしたり、植物観察をしたりしました。バッタにも、トノサマバッタやショウリョウバッタ等、色々な種類がいることもわかりました。きれいな声でなく、コオロギもいました。植物にもいろいろな呼び方があって面白かったです。

その時の感想を1年生の井ノ川双葉さんに紹介してもらいます。



「あさ川大すき」 いのかわ ふたば

ぼくは、バッタやコオロギ、ちょうをつかまえました。

バッタをつかまえようとしたらにげられてしまいました。こんどは、しずかにちかづきました。そうしたらつかまえて、やったーとおもいました。

よく見たら、バッタの口からくろっぽくてちやいろいしるが出てきて、びっくりしました。

水べのおじい、つかまえたバッタを見せたら、「すごいバッタだね。」といってくれてうれしかったです。

はじめて手でつかまえたときは、ちょっとこわくてドキドキしました。でも、いっぱいつかまえてたのしかった。またつかまえたいです。

井ノ川さん、ありがとうございました。

10月には、5年生が稲刈りをしました。田植えを体験して学んだことを5年生の土方美藍さん、八百板渚紗さんに発表してもらいます。



「米作りをおえて」 八百板 渚紗

私は、米作りの体験をして、お米を作ってくれる人の苦勞を知りました。

最初にしたのは、「田植え」です。私たちが田植えをした時には、ロープについたすずらんテープの印に合わせて苗を植えたけれど、実は、すずらんテープを使わないで植えるのでとても大変だとおもいます。

次に「雑草取り」をしました。雑草に栄養を取られてしまうので雑草取りは大切です。根本から取らなければまた生えてしまうので、土の深くまで手をしっかり入れなくてはなりません。

また雑草の量はものすごく多く大きかったので、とても大変でした。

次に「稲かり」をしました。稲かりは、良く切れるかまを使いました。かまを使う時少し力があるので途中つかれてしまってとても大変でした。

次にだっこくをしました。だっこくは、清水さんが持ってきて

下さっただっこく機を使いました。

わたしは米作りの体験をして学んだことがあります。

それは、「お米を作るのは、とても大変なこと」です。わたしは、「田植え」「雑草取り」「稲かり」「だっこく」をしてとても大変でした。(いつもお店で見ているお米がこんなに苦勞をして作られているんだなあ。)と思いました。これからは、お米を大切に食べて行きたいと思います。

「稲作体験を通じて考えたこと」 土方 美藍

私は、稲作体験をしました。稲作体験は、苗作りから脱穀まで農家の人や水辺の楽校の人たちに協力してもらいました。大変だったのは、夏に行った雑草抜きです。根っこから抜くのが上手いかなかったり、稲と一緒に抜いてしまったりしたからです。

この体験を通じて、稲作は大変なのだと分かりました。そのため、世界には貧しい人がいて、満足できるほど食料がないという話を聞いた時に「他の国が分けてあげればいいのに。」と思っていましたが、その食料を作ることがどんなに大変かを知り、口で言うのは簡単だけれど実際に行うのは難しいことを学びました。だから私は、今ご飯を満足に食べられることを感謝したいです。また、貧しくてご飯が満足に食べられない人の事をたくさんの人に知ってもらいたいです。

土方さん、八百板さんありがとうございました。

11月は、日野市の地域清掃に参加しました。

水辺の楽校の皆さんと一緒にゴミを拾いました。一人一人が力をあわせ、きれいな日野市を目指しました。



1月は、浅川であそぼう6「どんど焼き」です。

どんど焼きとは、小正月に村境などで行う火祭りのことで、門松・竹・しめなわを集めて焚きます。潤徳水辺の楽校では、美人づくりと鎌倉作りの2類のやぐらを作ります。去年は、鎌倉作りでした。

どんど焼きの火が小さくなると、その火で団子を焼きました。

この団子は、無病息災を願って食べます。

わたしは、習字で書いた半紙も焼いてもらいました。風に吹かれて高く飛んでくれてとても嬉しかったです。

2月は浅川であそぼう7です。浅川にいる野鳥観察をする予定です。今年度、初めて行う活動なので、どんなことをするのかとても楽しみです。浅川やトンボ池にはカワセミもくるので、カワセミがみられたらとても嬉しいです。



水辺の楽校では、今紹介したように、様々な活動を行っています。

私たちが活動してきた場所は、「水辺のある風景 日野50選」にも選ばれました。そのような場所で、私たちが楽しく活動できるのは、小倉先生をはじめ企画をしてくださった水辺の楽校の方々、ご協力いただいたの方々のおかげです。本当にありがとうございました。



これからも水辺の楽校で学んだことを活かして、美しい自然を未来に残していきたいと思います。

これで浅川潤徳水辺の楽校の発表を終わります。



多摩川の歴史

～万葉集から見る古代の多摩川～

多摩河に さらす手作 さらさらに
何そこの娘の ここだかなしきかな
(万葉集 巻十四の三三七三 作者不明)



この歌は日本最古の和歌集といわれている万葉集の東歌にある歌です。東歌とは、当時の都である近畿地方から東側、現在の静岡県から福島県までの地域の和歌が収められている巻のことを言います。

それでは、ここでクイズです。

第1問

クイズ 第一問

今の歌を現代の言葉に訳すと意味はどうなりますか？

Q 今の歌を現代の言葉に訳すと意味はどうなりますか？

- ① 多摩川の様子を歌った歌
- ② 男性が女性を愛する気持ちを歌った歌
- ③ 家族のことを歌った歌

正解は②男性が女性を愛する気持ちを歌った歌です。もう一つの説として、女性が自分たちのことを歌ったとも言われています。実際に現代語に訳すと意味は次のようになります。

正解 第一問

② 男性が女性を愛する気持ちを歌った歌

- 男性が女性を愛する気持ちを歌った歌
- 一説には女性が自分のことを歌ったとも言われる
- 現代の言葉に訳すと
多摩川でさらさらとさらす 布のように
さらにさらに どうしてこの娘が
かわいくてならないのだろうか

ところで、歌の古文と現代語訳では多摩川の漢字が「麻」に変わっています。また、どうして布を多摩川の水にさらすのでしょうか。これには、当時の社会の仕組みが関わっています。

ここでクイズです。

第2問

クイズ 第二問

多摩川で布を仕立てるのはなぜでしょう？

Q 多摩川で布を仕立てるのはなぜか？

- ① 自分たちの服をつくるため
- ② 布を売って現金にするため
- ③ 税として布を納めるため

正解は③税として布を納めるためです。当時は、お金よりも物々交換が多かったため、税は、物で納めることになっていました。主に、割り当てられた田んぼで収穫した稲の一部、布、そして地方の特産物です。この歌に出てくる布は、地方の特産物のことを指します。そして、この税のことを「調」と言います。

多摩川流域では、調として布を納めることが多く、主に女性の仕事とされていました。

正解 第二問

③ 税として布を納めるため

多摩川で布をさらすのは税として布を納めるため

当時は、税は布で納めることになっていました。

割り当てられた田んぼで収穫した稲の一部や布など

地方の特産物が主に 税として納められていた

- 地方の特産物の税のことを「調」と言う
- 多摩川流域では調として布を納めることが多い

さて、実は多摩川流域には、調として布を納めることから名付けられた地名が2ヶ所あります。それはどこでしょうか。気付いた方は、手を挙げてください。

多摩川流域には、調として布が納められていたことが分かる地名が2ヶ所あります。
それは、どこでしょうか？



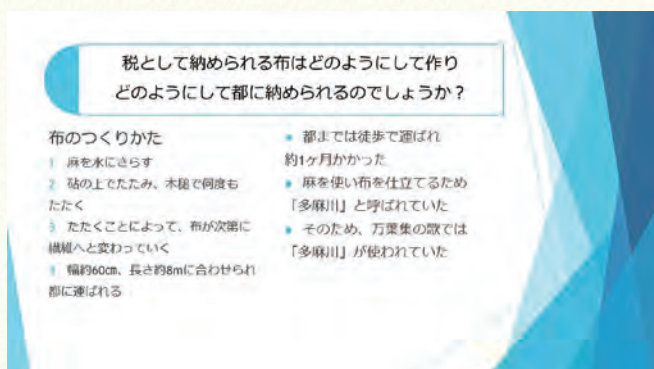
この2ヶ所の地名は、調布と田園調布です。

この2つは調として布が納められていたことが分かります。

また、現在の調布市の近くは「調布の里」とも言われています。調布市では、他にも布田など布と関係ある地名があります。



では、税として布を納めますが、その布はどのようにしてつくり、どのようにして納められるのでしょうか。布のつくり方は、次のとおりです。



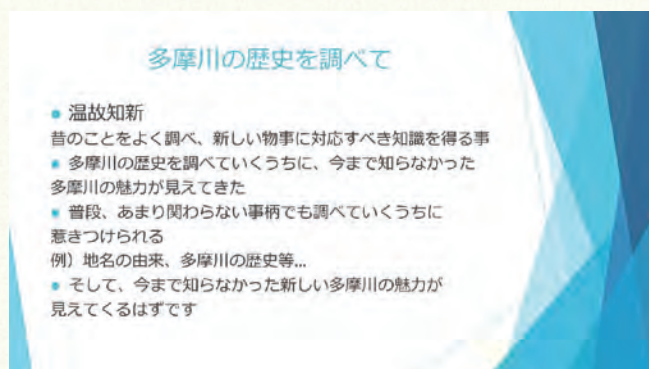
まず、麻を水にさらします。

その後、砧の上でたたんで木槌で何度もたたきます。砧とは、洗濯した布を乾いた状態でのせ、木槌などでたたきやわらかくする道具です。いわば、現代でいうアイロンのことです。たたくことによって、布は次第に繊維へと変わっていきます。

そして、つくられた布は幅約60センチメートル、長さ約8メートルという決まりに合わせられ、都まで運ばれます。都までは、主に歩きで運ばれるため、約1ヶ月かかったそうです。

このように、麻を使い布を仕立てるため、当時の人々からは「多摩川」と呼ばれていました。多摩川の語源はこの「多麻川」から来たとされています。

そのため、万葉集の歌では「多麻川」が使われていました。

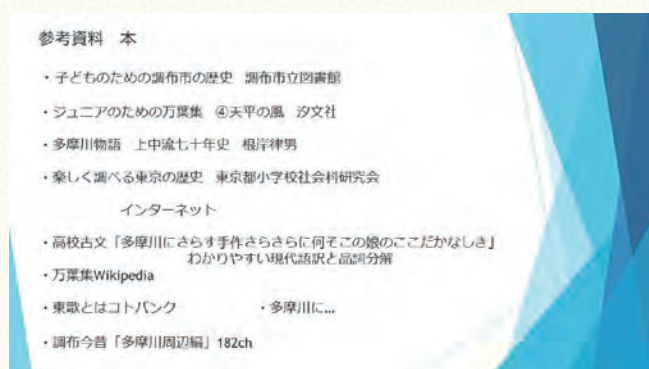


古くから温故知新という言葉が言われてきました。それは、昔のことをよく調べ、新しい物事に対応する知識を得るという意味です。これまで、万葉集から見た多摩川の歴史を調べてきました。調べていくうちに、どの時代にも人々の心の中には「多摩川」が生きて続けてきたこと、そしてそこには今まで知らなかった「多摩川の魅力」がありました。今回僕がテーマにしたものは、普段の生活とあまり関わりがありません。しかし、あえてそのような内容を調べることで、どんどん引きつけられていくはずです。

今回のテーマは多摩川の歴史という膨大な量のうちのほんの一部です。ですが、そのひとつひとつには、昔の人の多摩川に対する思いが見れて取れます。そして同時に、今まで知らなかった多摩川の魅力と、温故知新という言葉の通り、未来の多摩川が見えてくるのではないのでしょうか。

これで、発表を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

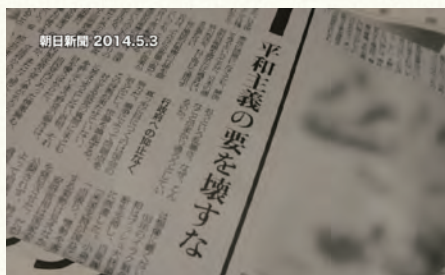
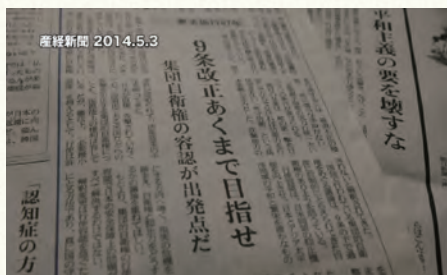


～世田谷区立喜多見中学校 演劇部放送班～

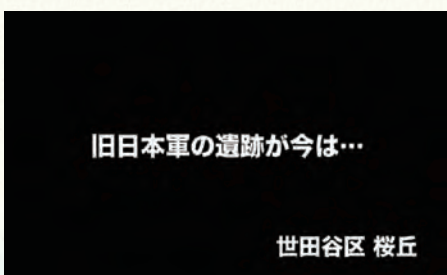
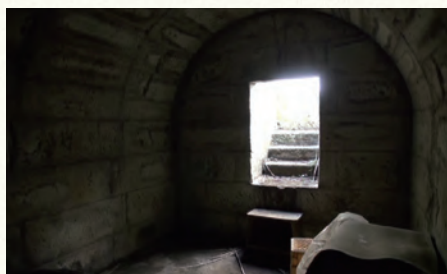
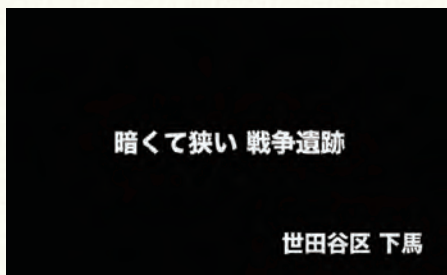
世田谷区 喜多見中学校 3年 はりがや 針谷 あい 寺田 風太郎 福田 かいと 福田 海人



私は3月頃、武器輸出に関するニュースを見ました。
 その他に憲法9条改正の動きがあるというニュースも見ました。
 それらを見て私は『日本が戦争に向かっているのではないか』と不安に思いました。
 ですが、そもそも戦争なんて教科書でしか見たことがないのでよくわかりません。



まず、身近な世田谷区で戦争について調べてみることにしました。
 防空壕を見たりお話を聞いたり当時使っていたものを見たりしました。





東海林 次男さん



陸(軍)



東京農業大学



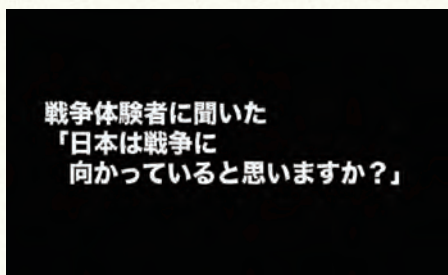
写真提供 東京農業大学

昭和20年ころの 陸軍機甲整備学校

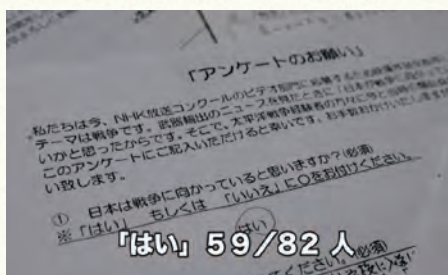
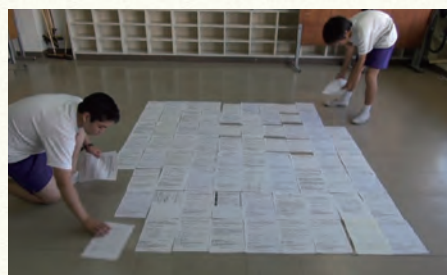


写真提供 東京農業大学

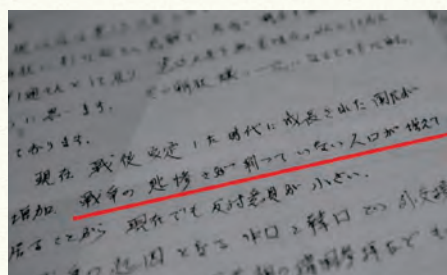
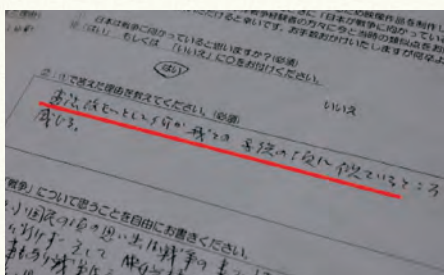
昭和20年ころの 陸軍機甲整備学校



戦争体験者に聞いた
「日本は戦争に
向かっていると思いますか？」



「はい」59/82人



安達 道正さん(86)



ひとをもって 敵から(国を)守る
ひとを殺して 弾の代わりにする



特攻隊へ行ったときは
(日本は戦争に)負けるなと思った



喜多見 氷川神社



昭和20年の平均寿命
男性 23.9歳
(出典: 戦時中の日本史)

戦争というものは難しすぎて私たちには
よくわからなかったし、大人たちがたくさ
ん考えても理解しきれないことです。

でも今、私達はとても幸せで、これが平和だと思うので、今の日本を、平和を守って
いこうと思いました。



「銃じゃなくて…
光る棒を握ることができてよかった」

脚本 三橋美月
出演 福田海人 加藤翔 芳賀磯
演出 寺田風太郎
演出 計谷あい

審査講評



美しい多摩川フォーラム
環境清流部会長
わたなべ いさみ
渡邊 勇



作品賞発表・賞状授与



美しい多摩川フォーラム
アドバイザー
ささき のぶよし
笹木 延吉



閉会挨拶



美しい多摩川フォーラム
教育文化副部会長
やまさき みつあき
山崎 充哲

第2部：交流会



多摩川の歌

作詞／谷川俊太郎
作曲／寺嶋 陸也

おおぞら たか
大空の高みふるさとにして

きり つゆ ち
霧はまき露は地に滲み

だい ち ふか
大地の深みをみなもとにして

う ひろ
せせらぎは生まれ広がる

ほ と ば し な が や
送り流れて止まぬ

た ま が わ
多摩川はきらめくいのち

み ず べ さくら ゆめ たく
水辺の桜に夢を託して

つ と ひ と あ そ こ
集う人遊ぶ子どもら

ひ と び と こころ
人々の心ゆるくむすんで

み ず あ お も り みどり
水青く森は緑に

う ず ま た た ふか
渦巻いて湛えて深く

た ま が わ
多摩川ははぐくむいのち

多摩川の歌

作詞：谷川俊太郎
作曲：寺嶋 陸也

Adagio ♩=76

おおぞらの たかみ ふるさとに して -

きりはまき つゆはちに し み だいちの ふかみを みなもとに

して - せせらぎは うまれ ひろがる ほとば しりながれてやまぬ - た

まがわは きらめく いのち - みずべのさくらに ゆめをたく

して - つどうひと あそぶこどもら

ひとびとの こころ ゆるくむす んで - みずあおく もりは -みどりに うずま

いて たたえてふかく - た まがわは はぐくむ いのち -

谷川 俊太郎 たにかわ しゅんたろう

1931年東京都杉並区生まれ。
1952年第一詩集『二十億光年の孤独』で詩壇に登場、以来詩作を中心に、翻訳家、絵本作家、脚本家として、またエッセーや評論などでも活発な活動を続けている。
他分野の芸術家と交流し、また影響を与え、常に自由な発想から創作を続けて独自の世界を築いている。

寺嶋 陸也 てらしまりくや

東京芸術大学作曲科卒、同大学院修了。
2003年パリ日本文化会館における作品個展「東洋と西洋の出会い」などは高く評価された。
オペラや室内楽曲・合唱曲など作品多数。
作曲のほか、ピアニストとしての内外の演奏家との共演や指揮など、活動は多方面にわたる。

美しい多摩川フォーラムのホームページで、「多摩川の歌」が試聴できます。 [多摩川の歌](#) [検索](#)

私たちといっしょに活動やイベントに参加してみませんか

第8回 2015 **12.5(土)** 開催決定!!
多摩川子ども環境シンポジウム
昭島市／フォレスト・イン 昭和館 [14:00～16:30](予定)

お問合せ・連絡先 **美しい多摩川フォーラム事務局**
東京都青梅市勝沼3丁目65番地
(青梅信用金庫 地域貢献部内)
TEL: 0428-24-5632
FAX: 0428-24-4650 <http://www.tama-river.jp>